

女性消防隊の歴史を取りまとめ ～女性消防隊発足 50 周年に向けて～



▲記念誌編集会議のようす

飯館村女性消防隊は、平成 26 年 4 月 1 日に、発足 50 周年を迎えます。

現在、発足 50 周年に当たり、記念事業として、記念誌を作成しています。編集は、隊長の高橋美佐子さん（伊丹沢）と副隊長の石川幸枝さん（比曽）、菅野さよ子さん（飯樋町）を中心に 10 人の編集委員で行っています。50 年の歴史が詰まった記念誌は、3 月末に完成する予定です。

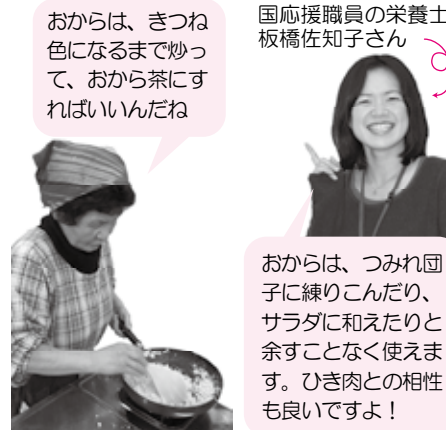
心に寄り添う身近な存在を目指して ゲートキーパー養成講座を開催



▲ゲートキーパーの役割について学びました

村は、長引く避難生活の中で、村民の心身状態の悪化が予想されることから、こころの病気の早期発見につなげてほしいと「ゲートキーパー養成講座」を飯野出張所で開催しました。

村民の身近な存在である民生児童委員、各自治会長、管理人、生活相談員など約 60 人が自殺予防の 10 か条や声のかけ方など心の健康に関する正しい知識について真剣に学んでいました。



おからは、きつね色になるまで炒って、おから茶にすればいいんだね

国応援職員の栄養士板橋佐知子さん

おからは、つみれ団子に練りこんだり、サラダに和えたりと余すことなく使えます。ひき肉との相性も良いですよ！



▲「食を考える会」の田村紀恵子さん（右）が先生です



飯館村食を考える会
会長 菅野 一代さん

村は、震災前から大豆での健康づくりに力を入れていました。会員が講師になった講習会は、避難後の会と村民をつなぐ活動としての第一歩。大豆は、捨てる場所がなく、すべて体に良い食材です。大豆のチカラを皆さんに知っていただけるのは、嬉しいですね。

「飯館村食を考える会」は、大豆料理で健康づくりを推進しようと、会員が講師になり、飯野出張所で「豆腐作り講習会」を行いました。その後、「みんなの食育アカデミー」が行われ、健康を作る食生活について認識を新たにしていました。

1/17 避難生活でも 大豆でバランスの 良い食事を！

豆腐作り教室、子育て支援についてご紹介します。

ふくし
くし
の
ペ
ー
ジ

村から
課から
係から

こころの ぽけっと

苦勞の思い出は…

今年の成人式は、心に残る素晴らしい成人式でした。実行委員の皆さんの苦勞の賜物です。

ふと、26 年前の成人式を思い出していました。嘱託公民館長として、初めての成人式に臨んだときのことで。実行委員の皆さんに、次のような話をしたのでした。「用意された式より、自分で思い出に残る成人式をやってみたらどうでしょう」と。

その結果、実行委員の皆さんは、苦勞に苦勞を重ね、村民にチケットを買ってもらい、500 人程が参加したとても楽しいコンサートを開いてしまったのでした。今でも、46 歳になった当時の実行委員の方に会う機会があると、「あの時は、うまくのせられて大変だったよな」があいさつ代わりになっています。

今年の成人者は、平成 20 年当時、中学 3 年のときに、村の予算を活用し、中学生自らが企画・運営を行う「やったね！事業」で、歌手の沢田知可子さんと一緒にコンサートを大成功させた方々です。

想像だにできなかった原発事故に会った時、沢田さんは心配して、当時、高校生だった成人者の皆さんのところに訪ねて来てくださいました。そして「あと、2 年と少し経つと成人式だよ。また会おうね」とメッセージも添え、約束してくれました。

避難の中での成人式の準備ゆえ、苦勞も多かったことでしょう。しかし、これから先、何年後、何十年後のいずれの同級会でも、苦勞した成人式の話が話題になり、「20 歳の自分に帰れる」ひと時が、必ず来ることでしょう。

今年の成人者への私からの「はなむけ」として、『生きていく』ということは、誰かに借りを作ることです。「生きてゆく」ということは、その借りを返していくことです』との言葉を贈らせていただきました。

思い出深いこの成人式を、心の糧として、大きく、大きく成長していつて欲しいものと心から祈った一日でした。

平成 26 年 1 月 20 日 飯館村長 菅野 典雄

いいたて子育てひろば



見て見て！じょうずに「てがた」がとれたでしょ？

はい、いくよぎゅー

わたしも「てがた」とって～

村では、子育て支援事業として、「いいたて子育てひろば」を、福島市の「コラッセふくしま」で開催しました。

参加したのは、0 歳児から 2 歳児までの子どもたちと保護者 20 名。会場を走り回ったり、木のおもちゃでままごとをしたり、村の保育士や幼稚園教諭による親子遊びや集団遊び、親同士のおしゃべりなど、親子で楽しいひとときを過ごしました。

子育てひろばは、今後も福島市や相馬市、南相馬市など各地域ごとに行われます。参加無料ですので、親子でお気軽にご参加ください。

問 健康福祉課福祉係（☎024-562-4259）



▲お手玉で遊びながら親子のスキンシップ！